

人口の将来展望

1 将来展望に必要な調査・分析

人口の将来を展望するに当たり、住民の結婚・出産・子育て等に関する意識や希望、学校卒業後の進路等に関する意向などの調査を実施した。

『山梨県結婚・出産・子育て等に関する県民アンケート調査』

(1) 調査時期

平成 27 年 5 月 1 日 (金) ~ 5 月 15 日 (金)

(2) 調査対象

未婚者

山梨県に在住する 18 歳以上、35 歳未満の未婚男女のうち 3,119 人を無作為抽出

既婚者

山梨県に在住する 50 歳未満の夫婦 (対象: 妻) のうち 2,968 人を無作為抽出
合計対象者数

6,087 人

(3) 調査方法

郵送調査法

(4) 回収結果

	回収数	有効回収率
未婚者	829 人	26.6%
既婚者	1,259 人	42.4%
合計	2,088 人	34.3%

(5) その他

(S A): 単一回答 (Single Answer)

(M A): 複数回答 (Multi Answer)

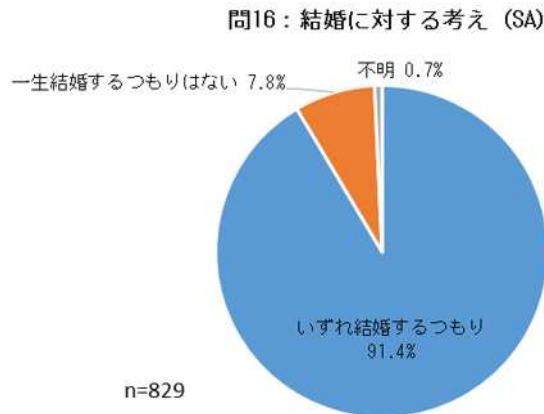
n: 回答者数 (number)

(6) 調査結果の概要

未婚者

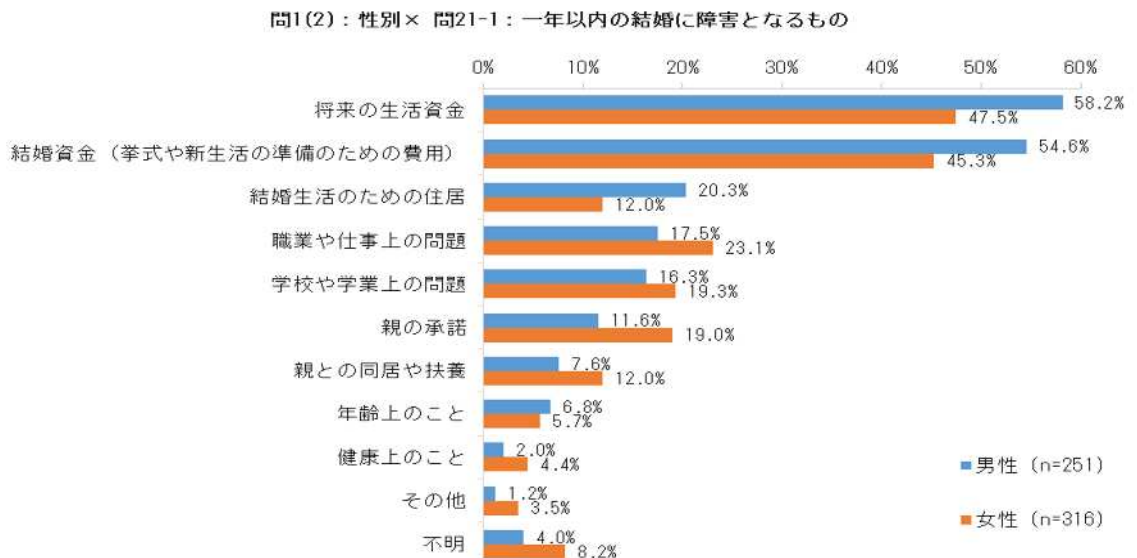
結婚に対する考え

- 「いずれ結婚するつもり」と回答した人の割合は、91.4%で9割を超えた。男女別でみると、男性 88.9%、女性 93.4%であり、男性に比べ女性の方が結婚への意欲が高い。一方、国立社会保障・人口問題研究所が平成 22 年度に実施した出生動向基本調査・独身者調査では、男性 86.3%、女性は 89.4%が「いずれ結婚するつもり」と回答しており、本県では全国に比べ、男女ともに結婚意欲が高いことがうかがえる。



一年以内の結婚に障害となるもの

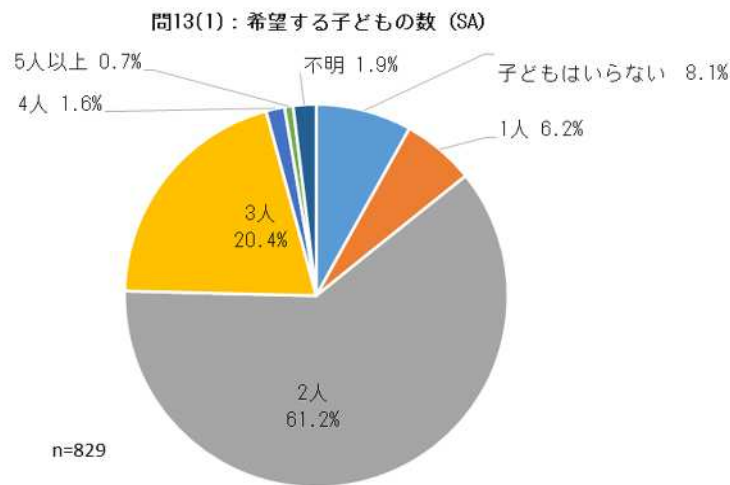
- 「いずれ結婚するつもり」と回答した人に、一年以内に結婚するとしたら何か障害になることがあるかをたずねたところ、「障害になることがあると思う」と回答した人の割合は、74.8%であった。具体的な事由をみると、男女ともに「将来の生活資金」を挙げた人が最も多く(男性 58.2%、女性 47.5%)、次に「結婚資金(挙式や新生活の準備のための費用)」(男性 54.6%、女性 45.3%)と続いており、経済的な理由が結婚するに当たってのハードルになっていることが推察される。



※「一年以内に結婚する場合に障害になることがあると思う」と回答した人

希望する子どもの数

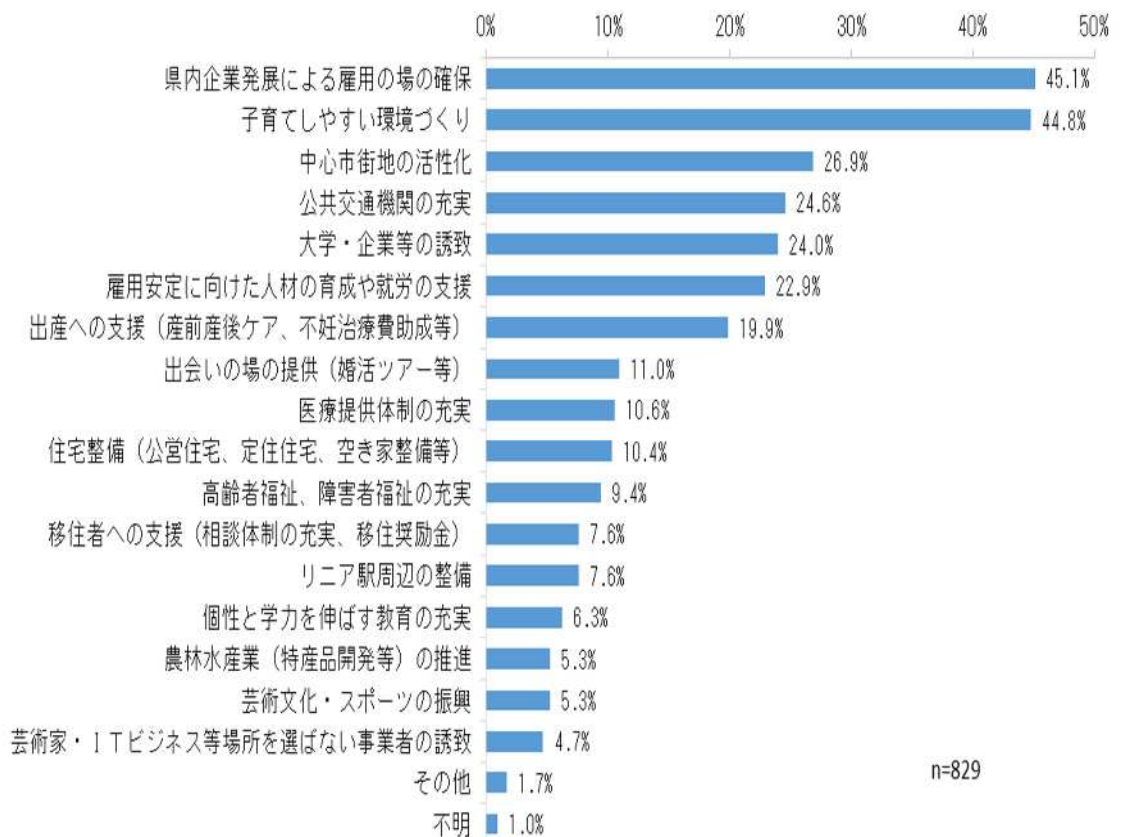
- ・ 「2人」(61.2%)が最も高く、次いで「3人」(20.4%)、「子どもはいらない」(8.1%)の順となっている。



人口確保対策として行政が取り組むべき施策

- ・ 行政が取り組むべき施策としては、「県内企業発展による雇用の場の確保」(45.1%)が最も高く、次いで「子育てしやすい環境づくり」(44.8%)、「中心市街地の活性化」(26.9%)、「公共交通機関の充実」(24.6%)の順となっている。

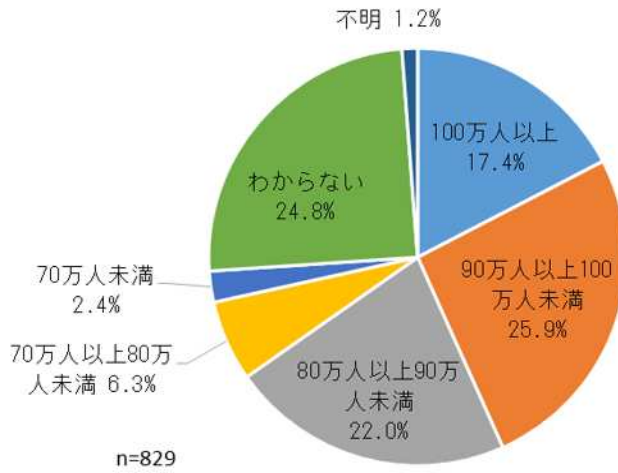
問32：人口確保対策として行政が取り組むべき施策 (MA)



50年後の山梨県を魅力あるものとするため目指すべき人口規模

- ・ 本県が目指すべき人口規模としては、「90万人以上100万人未満」(25.9%)が最も高く、次いで「わからない」(24.8%)、「80万人以上90万人未満」(22.0%)の順となっている。

問33：50年後の山梨県を魅力あるものとするため目指すべき人口規模 (SA)



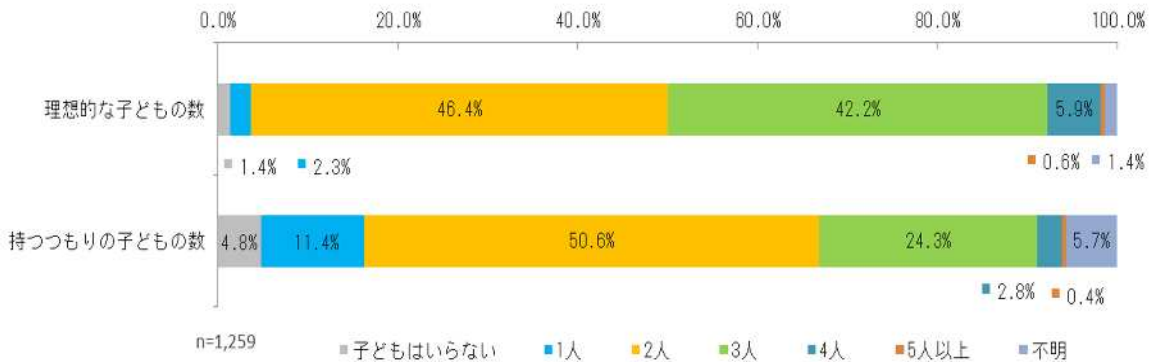


既婚者

理想的な子どもの数と持つつもりの子どもの数

- 理想的な子どもの数については、「2人」(46.4%)が最も高く、次いで「3人」(42.2%)、「4人」(5.9%)の順となっている。
一方、持つつもりの子どもの数は、「2人」(50.6%)が最も高く、次いで「3人」(24.3%)、「1人」(11.4%)と続いており、理想的な子どもの数と持つつもりの子どもの数との間に乖離が生じている。

問11(1)：理想的な子どもの数、問13：持つつもりの子どもの数 (SA)



持つつもりの子どもの数が理想を下回る理由

- 「理想的な子どもの数」より「実際に持つつもりの子どもの数」が少ないと回答した人にその理由をたずねたところ、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(51.4%)が最も高く、次いで「高年齢で生むのはいやだから」(27.5%)となっている。また、妻の年齢が30歳未満では、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」といった理由が、35歳以上では、「高年齢で生むのはいやだから」といった理由が、それぞれ高くなっている。

問15-1：持つつもりの子どもの数が、理想とする子どもの数より少ない理由 (MA)



※「理想的な子どもの数」より「実際に持つつもりの子どもの数」が少ないと回答した人



人口確保対策として行政が取り組むべき施策

- 行政が取り組むべき施策としては、「子育てしやすい環境づくり」(55.0%)が最も高く、次いで「県内企業発展による雇用の場の確保」(44.2%)、「大学・企業等の誘致」(26.8%)、「出産への支援(産前産後ケア、不妊治療費助成等)」(22.7%)の順となっている。未婚者と比べ、子育てや出産への支援に関する項目の回答割合が高い。

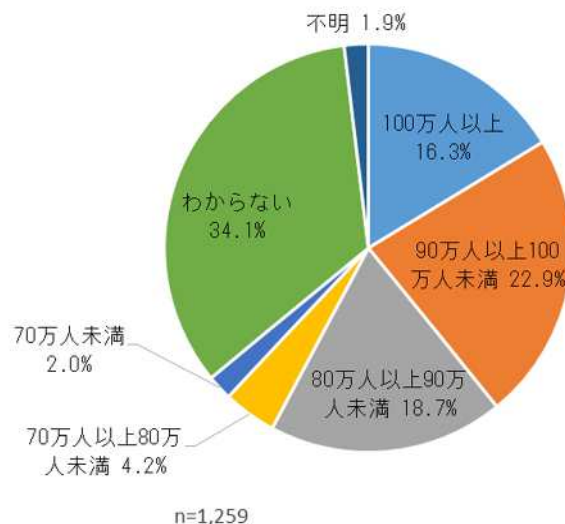
問30：人口確保対策として行政が取り組むべき施策 (MA)



50年後の山梨県を魅力あるものとするため目指すべき人口規模

- 本県が目指すべき人口規模としては、「わからない」(34.1%)が最も高く、次いで「90万人以上100万人未満」(22.9%)、「80万人以上90万人未満」(18.7%)の順となっている。

問31：50年後の山梨県を魅力あるものとするため目指すべき人口規模 (SA)



山梨県希望出生率

- ・ 既婚者の希望や未婚者の結婚希望など本アンケートの結果を基に、国民希望出生率の算出方法に準じ計算した結果、本県の希望出生率は、1.87となった。

山梨県希望出生率

1.87

[(有配偶者割合 × 既婚者の予定子ども数) + (未婚者割合 × 未婚者のうち結婚を希望する者の割合 × 未婚者の希望子ども数)] × 離死別等の影響

『学校卒業後の進路等に関するアンケート調査』

(1) 調査時期

平成 27 年 6 月 15 日 (月) ~ 6 月 29 日 (月)

(2) 調査対象

県内大学生

山梨県内の大学に在籍している大学生 : 1,000 人

(山梨大学・都留文科大学・山梨県立大学・山梨学院大学 (順不同))

県外大学生等

山梨県外の大学、短期大学及び専門学校に在籍あるいは既に卒業している 25 歳以下の山梨県出身者

(3) 調査方法

郵送調査法・Web アンケート

(4) 回収結果

	回収数 (回答数)	有効回収率
県内大学生	736 人	73.6%
県外大学生等	227 人	-
合計	963 人	-

(5) その他

(S A) : 単一回答 (Single Answer)

(M A) : 複数回答 (Multi Answer)

n : 回答者数 (number)

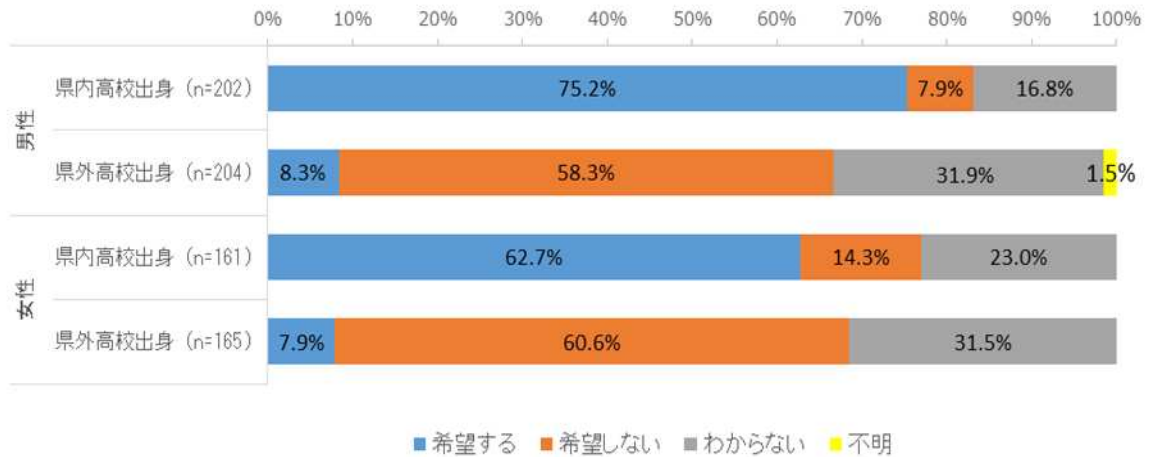
(6) 調査結果の概要

県内大学生

大学卒業後、山梨県内で就職あるいは進学等の希望

- ・ 県内での就職あるいは進学を「希望する」学生は、県内出身者の男性が75.2%、女性が62.7%となっており、男性の方が県内志向は強い。

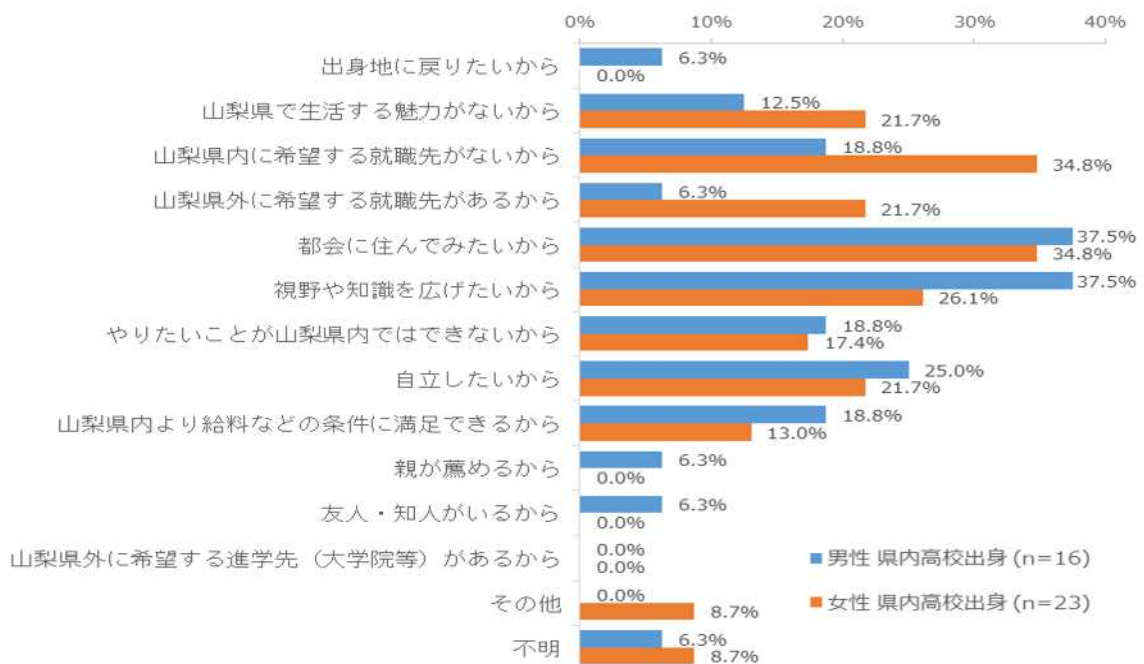
問8(1)：大学卒業後、山梨県内で就職あるいは進学等の希望 × 性別 × 出身高等学校の所在地



山梨県内に就職あるいは進学を希望しない理由

- ・ 希望しない理由を県内出身者でみると、男性では「都会に住んでみたいから」(37.5%)と「視野や知識を広げたいから」(37.5%)への回答割合が高い。また、女性では「山梨県内に希望する就職先がないから」(34.8%)と「都会に住んでみたいから」(34.8%)への回答割合が高い。

問8(3-1)：希望しない理由

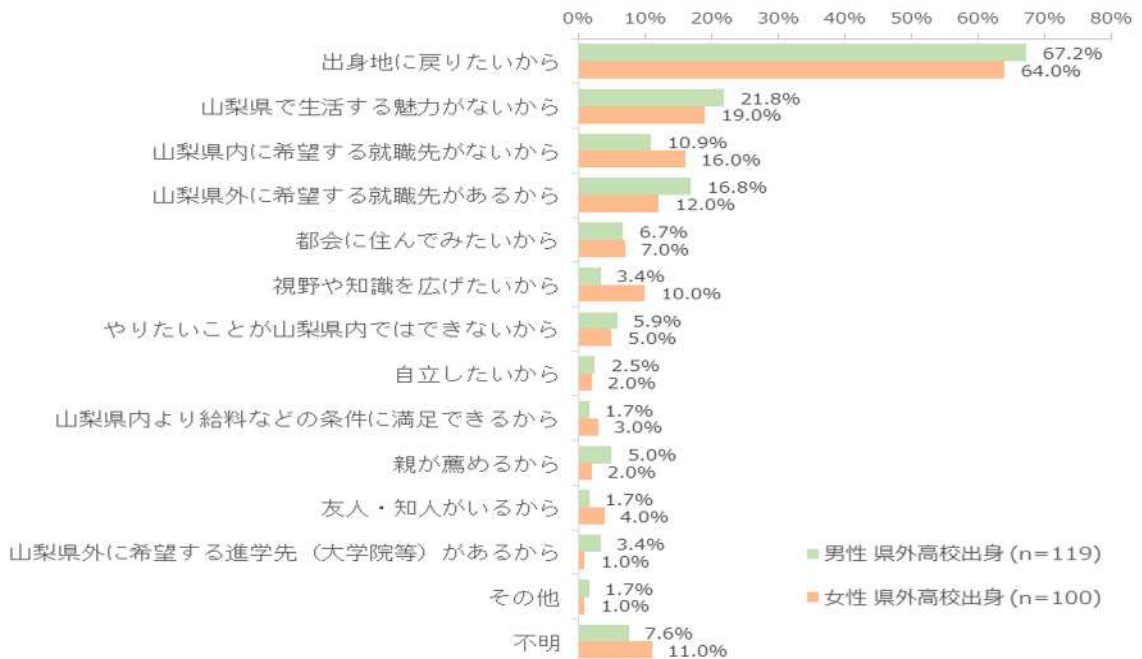


※「山梨県内で就職・進学を希望しない」と回答した人



- ・ 県外出身者でみると、男女とも「出身地に戻りたいから」(男性：67.2%)(女性：64.0%) が最も高く、次いで「山梨県で生活する魅力がないから」(男性：21.8%)(女性：19.0%) となっている。

問8(3-1)：希望しない理由

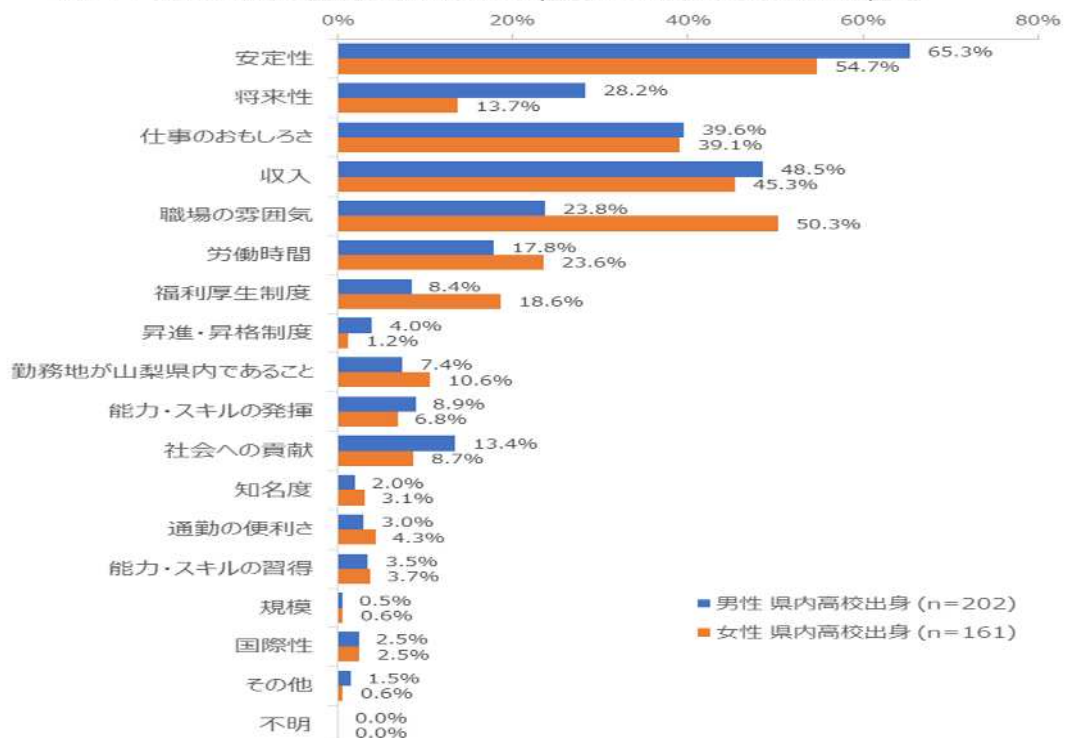


※「山梨県内で就職・進学を希望しない」と回答した人

就職する際、重視するポイント

- ・ 就職する際に重視するポイントを県内出身者でみると、男性では「安定性」(65.3%) が最も高く、次いで「収入」(48.5%) となっている。また、女性では「安定性」(54.7%) が最も高く、次いで「職場の雰囲気」(50.3%) となっている。

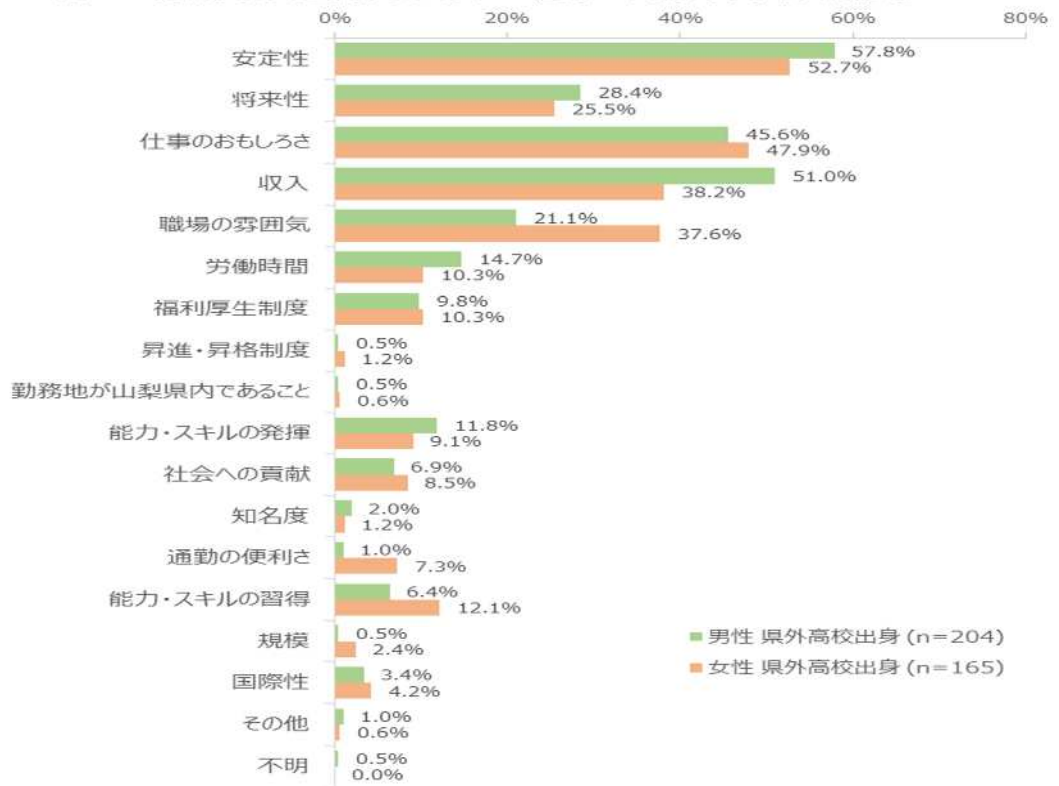
問11：就職する際、重視するポイント×性別×出身高等学校の所在地





- ・ 県外出身者でみると、男性では「安定性」(57.8%)が最も高く、次いで「収入」(51.0%)となっている。また、女性では「安定性」(52.7%)が最も高く、次いで「仕事のおもしろさ」(47.9%)となっている。

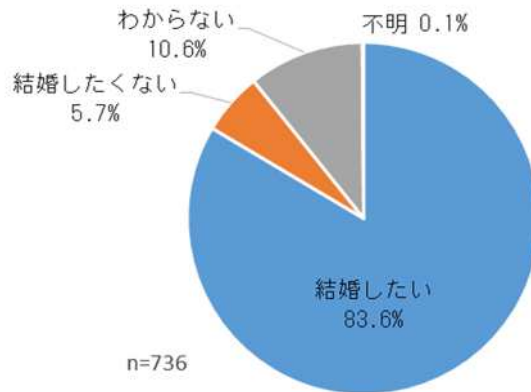
問11：就職する際、重視するポイント×性別×出身高等学校の所在地



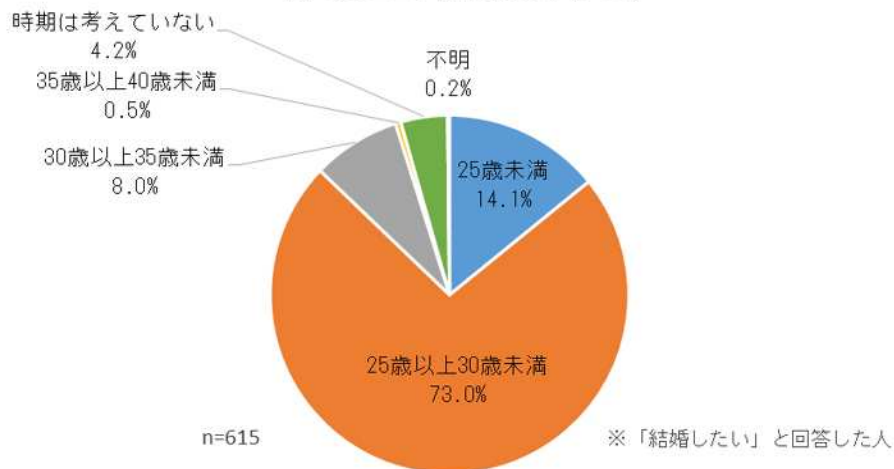
結婚の希望、子どもを持ちたいと思う年齢

- ・ 将来「結婚したい」と考えている学生は、83.6%と8割以上が結婚願望を持っており、結婚したい年齢は、7割以上の学生が「25歳以上30歳未満」(73.0%)と回答している。
また、子どもを持ちたいと思う年齢は、6割以上の学生が「25歳以上30歳未満」(62.6%)と回答している。
なお、男女とも同じ傾向を示している。

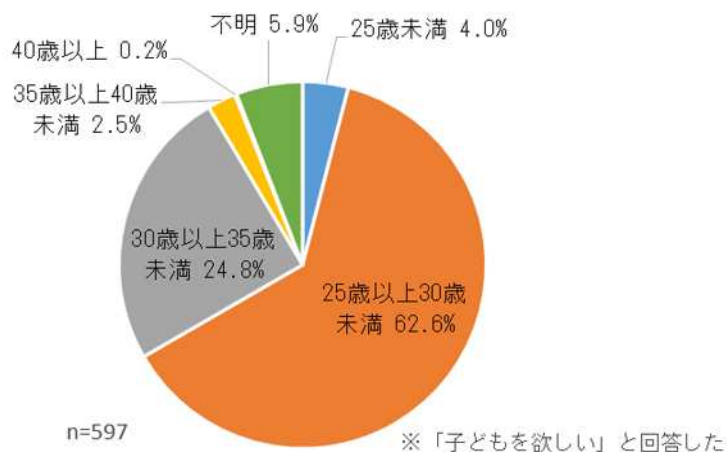
問14(1)：結婚の希望の有無 (SA)



問14(2)：いつ頃結婚したいか (SA)



問15(3)：子どもを持ちたいと思う年齢 (SA)



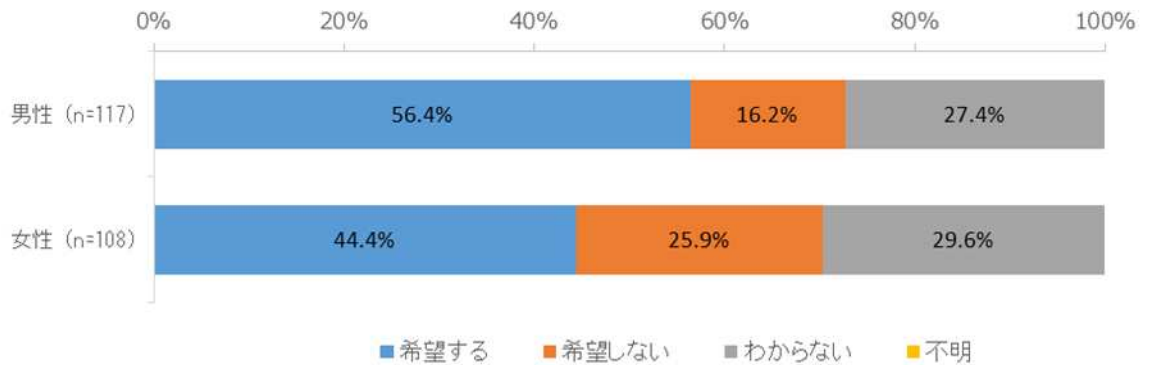


県外大学生等

山梨県内で就職あるいは進学等の希望

- 県内に就職あるいは進学を「希望する」学生を男女別にみると、男性が56.4%、女性が44.4%となっており、男性の方が県内志向は強い。

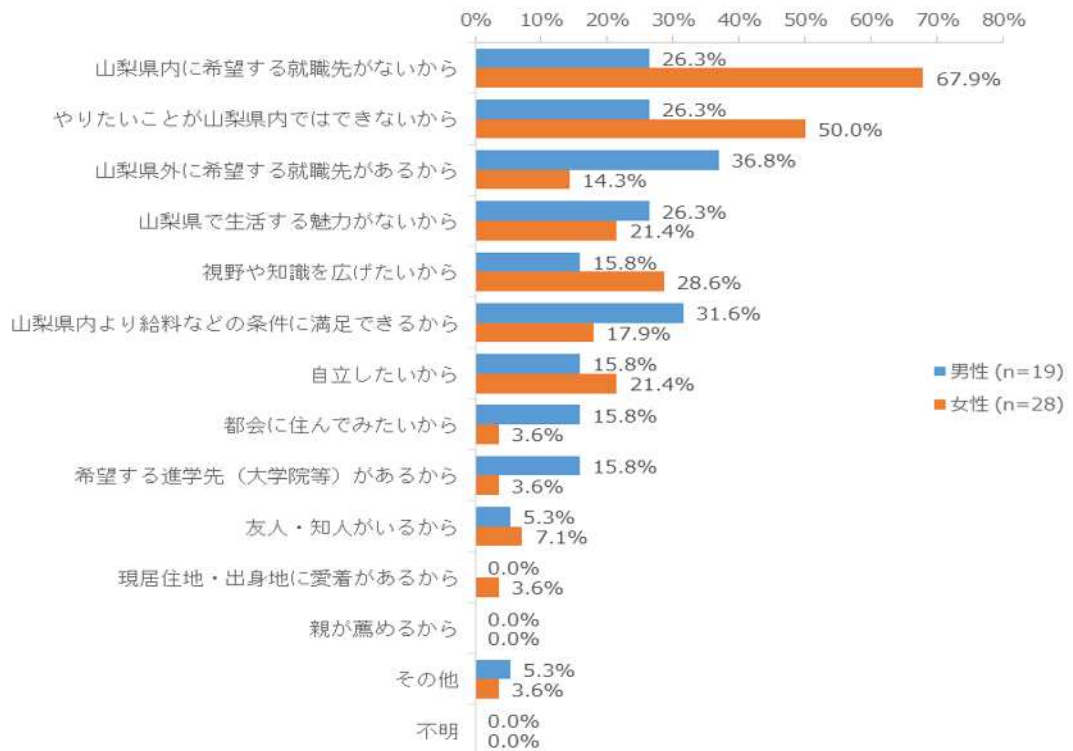
問7(1)：大学卒業後、山梨県内で就職あるいは進学等の希望 × 性別



山梨県内に就職あるいは進学を希望しない理由

- 希望しない理由を男女別でみると、男性では「山梨県外に希望する就職先があるから」(36.8%)が最も高く、次いで「山梨県内より給料などの条件に満足できるから」(31.6%)となっている。また、女性では「山梨県内に希望する就職先がないから」(67.9%)が最も高く、次いで「やりたいことが山梨県内ではできないから」(50.0%)となっている。

問7(3)：希望しない理由 × 性別



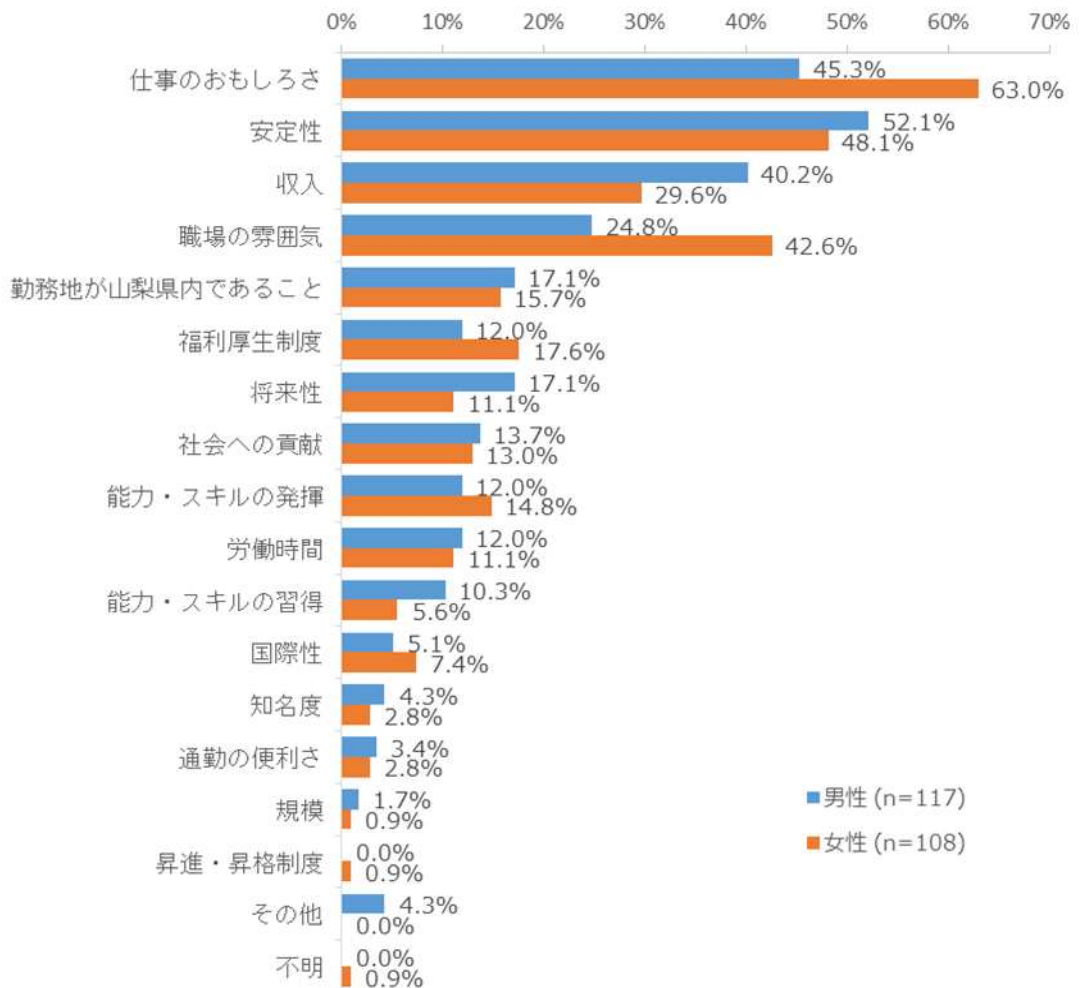
※「山梨県内で就職・進学を希望しない」と回答した人



就職する際、重視するポイント

- ・ 就職する際に重視するポイントを男女別にみると、男性では「安定性」(52.1%)が最も高く、次いで「仕事のおもしろさ」(45.3%)となっている。また、女性では「仕事のおもしろさ」(63.0%)が最も高く、次いで「安定性」(48.1%)となっている。

問10：就職する際、重視するポイント × 性別



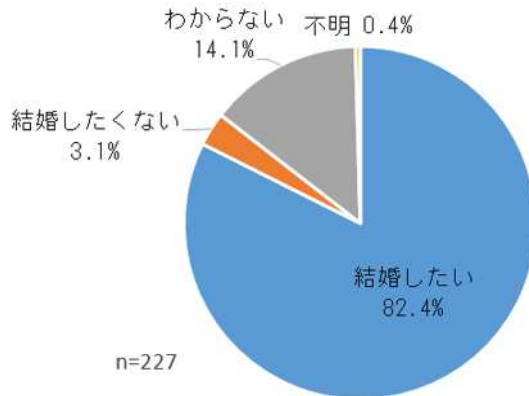
結婚の希望、子どもを持ちたいと思う年齢

- ・ 将来「結婚したい」と考えている学生は、8割を超えており（82.4%）、結婚したい年齢は、7割以上の学生が「25歳以上30歳未満」（72.2%）と回答している。

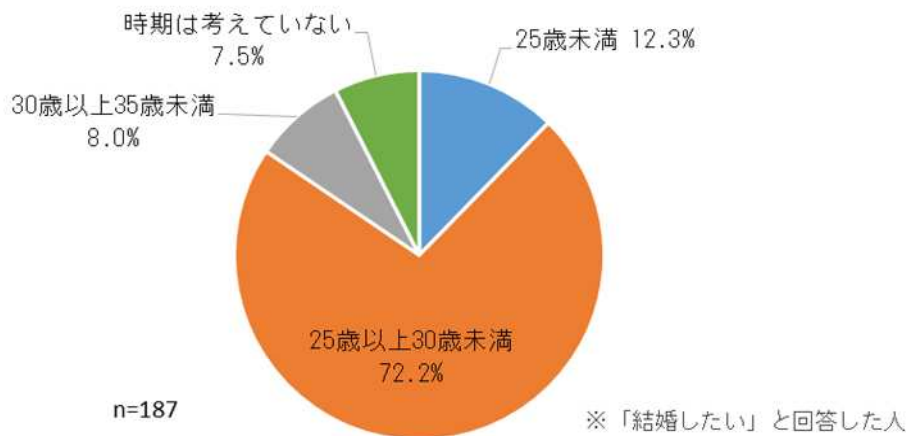
また、子どもを持ちたいと思う年齢は、「25歳以上30歳未満」が35.3%、次いで「30歳以上35歳未満」（10.7%）となっている。

なお、男女とも同じ傾向を示している。

問13(1)：結婚の希望の有無 (SA)



問13(2)：いつ頃結婚したいか (SA)



問14(4)：子どもを持ちたいと思う年齢 (NA)

